博報堂DYグループのサステナビリティ

博報堂DYグループは、「人を中心としたサステナブルな経営」を推進するため、2024年、サステナビリティ方針を制定し、重要課題（マテリアリティ）を特定しました。自立と連携の考えのもとグループ各社の事業特性や強みを活かし、当社グループらしいサステナビリティを推進していきます。

サステナビリティ方針

PURPOSE

生活者、企業、社会。
それぞれの内なる想いを解き放ち、時代をひらく力にする。
Aspirations Unleashed

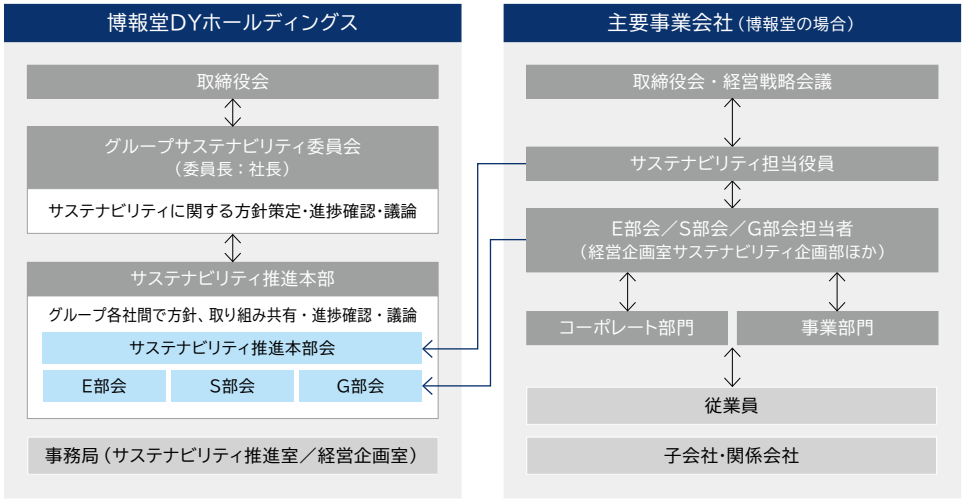
人を中心としたサステナブルな経営

E 環境 **持続可能な地球環境への貢献**	地球環境との共生に向け企業としての取り組みを果たすとともに、生活者発想と生活者、企業、社会をつなぐ力を活かし、サステナブルな行動変容を実現する。
S 社会 **多様な個の成長と尊重によるクリエイティビティの発揮**	社員一人ひとりの想いを解放し、専門性や先進性を向上させる生活者発想と共創力によりクリエイティビティを発揮し、生活者、企業、社会の課題を解決する。
G ガバナンス **コンプライアンスとインテグリティの追求**	社員一人ひとりが信頼に応える責任と向き合い、自らが持つクリエイティビティを正しく発揮することで、社会へのポジティブなインパクトを生み出す。

P.27 ▶ 重要課題（マテリアリティ）

サステナビリティ推進体制

取締役会を意思決定機関としてその下にグループサステナビリティ委員会を設置し、サステナビリティに関するテーマの審議を行っています。同委員会には取締役とグループ主要事業会社の代表者が参加し、トップコミットメントをいっそう強化しています。博報堂では専任組織を置くとともに、特に重要なサステナビリティ課題について、既存の委員会や部門との連携やタスクフォースの設置を通じて、推進体制を強化しています。



2026年3月期の議題

第1回グループサステナビリティ委員会	第2回グループサステナビリティ委員会
• 人権デュー・ディリジェンスの進捗報告 • 責任あるコミュニケーション開発について • LGBTQ+関連の取り組み報告	• グループ環境方針改定およびGHG排出量の新目標設定について • グループ調達基本方針およびガイドライン策定について